

社会福祉法人 まほろば 平成28年度 事業計画



指定介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム まほろばの里たいわ

ユニット型指定介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム まほろばの里たいわ

指定短期入所生活介護

ショートステイ まほろばの里たいわ

指定通所介護

デイサービスセンターまほろばの里たいわ

指定居宅介護支援事業所

まほろばの里たいわ居宅介護支援事業所

地域型保育事業（事業所内保育事業）

たいわっこ保育園

平成28年度事業計画 目次

法人理念・運営理念・平成28年度運営方針	1
（仮称）特別養護老人ホームまほろばの里向山事業計画	4
特別養護老人ホームまほろばの里たいわ事業計画	5
ショートステイまほろばの里たいわ事業計画	7
デイサービスセンターまほろばの里たいわ事業計画	8
まほろばの里たいわ居宅介護支援事業所事業計画	10
たいわっこ保育園事業計画	11
【各委員会及び係 年間計画】	
ユニットケア委員会・事故防止対策委員会・苦情解決委員会	12
防災対策委員会・感染（褥瘡）予防対策委員会	13
研修委員会・給食委員会	14
排泄・口腔委員会・IT（情報技術）委員会	15
レク ボラ係・喀痰吸引等業務検討委員会	16

○ 法人理念

「人間尊重」

「利用者第一」

○ 運営理念

「利用者に喜ばれる運営」

「地域に喜ばれる運営」

「職員に喜ばれる運営」

そして

社会に貢献できる法人を目指す

○ 平成28年度運営方針

- ・ 昨年度に引き続き仙台市民間福祉施設整備事業として、平成28年度は特別養護老人ホームまほろばの里向山（仮称）実施のための準備期間とします。
- ・ 大和町のシンボル、そして法人のロゴマークにちなみ、七つの項目に基づいて平成28年度の施設運営を行います。



いつでも誰でも集える暮らせる
小さな街を目指して

入居者が暮らしやすい「家」を
創り、家族・友人が自然に集ま
る施設づくりを目指します。



一の森 【入居者の生活向上】

～ 入居者一人一人の生活に目を向け、その方々が望む生活を送ることが
できるようなケアを提供します ～

- ① ユニットケアの推進（入居者が望む生活を送るためのケアの提供）
- ② イベント・外出・施設外の活動・保育園児との交流等入居者が楽しめる生活づくり
- ③ 町内会活動（ユニット間の連携）の強化
- ④ 24時間シートの活用



二の森 【家族との信頼関係の強化】

- ① 家族とのコミュニケーションの充実
- ② 家族との情報交換
- ③ 家族も一緒に参加できる行事の企画・実施
- ④ 家族も過ごしやすい生活環境づくり



三の森 【働きやすい職場環境づくり】

- ① いつでも誰でも相談できる環境作り
- ② 各職種間の連携強化
- ③ 職員が楽しく働ける環境作り（福利厚生の実施 親睦会の活用等）



四の森 【人材創出・育成】

- ① 人材育成（内部研修 外部研修への積極的参加）
- ② 人材創出（実習の受け入れ、地域住民の働く場所として）
- ③ 資格取得講座の実施（介護職員初任者研修・実務者研修）
- ④ 仙台保健福祉専門学校との連携（介護福祉士等資格取得のための学習
人材創出のための連携 研修）
- ⑤ 施設内事例発表会の実施及び宮城県老人福祉施設協議会主催の事例発表会への参加



五の森 【地域連携】

- ① M T S（まほろばの里たいわセミナー 地域連携研修会）の実施
- ② 他事業所との連携（居宅介護支援事業所を中心として）
- ③ 小中学校の職場体験受入れ
- ④ ボランティア育成及び受け入れ
- ⑤ 地域イベントへの積極的参加（まほろば夏祭等への参加）
- ⑥ 大和町、大和町社会福祉協議会との連携強化



六の森 【安全対策】

- ① 防災対策の強化（備蓄食糧の整備 避難訓練の実施）
- ② 事故対策の強化（事故対策委員会を中心とした介護事故防止対策の強化）
- ③ 感染対策の強化（感染予防対策委員会を中心とし、感染対策の徹底）
- ④ 苦情解決体制の強化（苦情解決委員会を中心とした、苦情解決体制強化及びサービス向上）



七の森 【安定した施設運営】

- ① 特別養護老人ホーム稼働率 98%以上の確保
- ② 短期入所生活介護稼働率 85%以上の確保
- ③ 通所介護稼働率 65%以上の確保
- ④ 居宅介護支援事業所実績数 25件以上の確保
- ⑤ たいわっこ保育園利用率 90%以上の確保

(仮称) 特別養護老人ホーム まほろばの里向山
平成28年度事業計画

【平成28年度計画】

月	施設(運営)	施設(建築)	施設(行政)
H28/4月	開設準備室発足 ハローワーク 新卒求人募集開始 生活相談員 看護師(主任クラス) 介護職員(大学 専門卒)		進捗状況定期報告
5月		造成工事竣工(5月14日) 地鎮祭(予定) 本体工事着工	造成工事竣工検査 補助金交付申請(造成工事分) 進捗状況定期報告
6月	新卒求人募集開始(高卒)		進捗状況定期報告
7月	ハローワーク 養成校求人提出 看護師 リハビリ 栄養士 介護職員(新卒以外)		進捗状況定期報告
8月	新卒職員採用面接開始 (大学 専門学校)		進捗状況定期報告
9月	新卒職員面接開始(高卒)	本体工事上棟 上棟式(予定)	本体工事中間検査 補助金交付申請 (本体工事20%) 進捗状況定期報告
10月	職員異動(たいわ→向山) 生活相談員 看護師(主任クラス) 採用 一般職員採用面接開始 入居者募集案内開始 (以降随時募集)		進捗状況定期報告
11月			進捗状況定期報告
12月			進捗状況定期報告
H29/1月	優先入居判定実施 以降実態調査 入居契約実施 短期入所生活介護利用受付開始		進捗状況定期報告
2月	職員募集・採用完了(2月1日)	本体工事竣工・引渡し (2月28日)	老人福祉法認可申請 介護保険法指定申請 進捗状況定期報告
3月	看護師 リハビリ 栄養士 介護職員採用 施設開所前研修・開所準備実施 (1か月間) 入居者決定	備品搬入	本体工事完了検査 老親福祉法認可 介護保険法指定 補助金交付申請 (本体工事80%)
4月	新卒職員採用 施設開所(4月1日)		

- ※ 入居者募集案内については、地域住民(町内会)・居宅介護支援事業所・介護老人保健施設・病院への訪問及びホームページにて案内をします。
- ※ 介護職員初任者研修(まほろばの里たいわ内)を実施し、職員確保を行います。
- ※ 月1回定例会を実施し、進捗状況の報告、備品、設備、設え、施設運営等について検討します。

特別養護老人ホーム まほろばの里たいわ

平成28年度事業計画

【平成28年度目標】

① 入居稼働率98%以上の確保

ユニット型個室稼働率99%、多床室98%の稼働率を目指します。
上記達成のために、空床期間を1か月以内とし、空床から新規入居までの期間を短縮するよう努めていきます。
そのためにも、入居判定までの流れの見直し、入居申込者本人、家族、担当ケアマネージャーとの連絡調整、情報共有をこまめに行い、円滑なベッドコントロールを実施していきます。

② 入居者の生活の質向上に向けた取り組み

入居者の「生活」に目を向け、食事・排泄・入浴・生活環境を一人一人の生活パターンに合わせたケアを実施します。
入居者にとって「居心地の良い空間」を提供できるサービスを目指し、職員一人一人のケアの質の向上を目指します。

③ 家族との信頼関係の強化

昨年度に引続き、入居者ご家族とのコミュニケーションを重要視し、入居者だけではなく、ご家族にとっても「居心地の良い空間」づくりに努めていきます。ご家族とのコミュニケーションを図ることで、風通しの良い雰囲気づくり、信頼関係の構築に繋げより良いサービスの提供を目指します。

④ 情報共有の徹底

サービスの質を確保するため、ユニット職員間、介護、リハ、ケアマネ、相談員、看護師、事務職との情報共有を徹底していきます。
各職種の役割、業務内容の明確化をし入居者・家族・地域の方々からの要望、希望等の用件に適切に、スピーディーに担当者へ繋ぐことができ、入居者・家族・地域から信頼される施設作りを目指します。

【各ユニットの目標】

あんずユニット	入居者の生活に合わせた、喜びの生活支援実施を目指す 働きやすい職場環境を全員で作る
かりんユニット	<ul style="list-style-type: none">・24時間シートを活用し、ケアの統一を図り、入居者の方々にその人らしい生活を送っていただく・皆が笑い合い活気ある明るい雰囲気ユニットに・当たり前前の家族の光景の再現
すももユニット	<ul style="list-style-type: none">・環境整備（整理整頓・ユニットの雰囲気を落ち着く空間に）・ユニットでの調理を増やす
すぐりユニット	次に起こりうることを想定、予測し、早めの対応・対策をとる
くるみユニット	入居者一人ひとりが家庭生活と同様、いつまでも明るく充実した生活が送れるよう支援します
なつめユニット	<ul style="list-style-type: none">・ユニットケアの実施・チームケアの徹底・入居者の健康と安全、清潔な生活を提供します
すみれユニット	ご家族との関わりをより深いものとし、入居者とご家族とが共に触れ合える機会をつくる
りんどうユニット	入居者一人ひとりの時間を大切にし、個別ケアの実現できるユニットを目指す
すずらんユニット	個人のできることを増やす <ul style="list-style-type: none">・職員は個々にスキルアップを目指す・入居者に対して生活活動（好む活動）の機会を増やす
かたくりユニット	<ul style="list-style-type: none">・家族とコミュニケーションを取りながら、一緒に家庭を作り、小さな事でも足を踏み入れて苦情0を目指す。・提出物の期限厳守・仲間との情報共有を徹底し連携を図る

ショートステイ まほろばの里たいわ 平成28年度事業計画

【平成28年度目標】

- ① 入居稼働率平均85%以上を維持する。
 - ・ 居宅介護支援事業所との情報交換を綿密に行い、ショートステイの空床情報等を居宅介護支援事業所ケアマネに公開して行きます。
 - ・ 生活環境を見直しし、利用者に「また利用したい」と感じてもらえるようなサービスの提供に努めます。
- ② 「おもてなし」の心を持ち、利用者・職員共に居心地の良い環境を作る。

「おもてなし」の心を常に持ち、利用者にとって「楽しかった」「また来たい」と感じて頂けるような生活空間、サービスの提供に努めます。利用者・職員が共に生活を楽しめるようなケアを目指し更なるサービスの質の向上に努めます。

【年間行事計画】

- | | |
|-----|------------------------|
| 4月 | お花見ツアー |
| 5月 | 接遇等の見直し 利用者がくつろげる空間づくり |
| 6月 | 新緑ドライブ 季節に合ったユニット内の装飾 |
| 7月 | 買い物外出 |
| 8月 | 夏祭り |
| 9月 | 前期の振り返り 買い物外出 |
| 10月 | 紅葉ドライブ |
| 11月 | 買い物外出 |
| 12月 | 忘年会 クリスマス会 年賀状作成 |
| 1月 | 新年会 餅つき |
| 2月 | 買い物外出 |
| 3月 | 振り返り 買い物外出 |

毎月誕生会の実施 入居者の希望に合わせた行事・外出支援

デイサービスセンター まほろばの里たいわ

平成28年度事業計画

□ 平成28年度稼働目標65%以上を目指します。

□ 利用者確保に向けた取り組み

① 「まほろば式テーマパーク型デイサービス」システムの再検討・実施

- ・ 個別ケアを前提とした、選択型・参加型の活動システムの再検討を行い、利用者のニーズや環境の変化に合わせた内容を実施していきます。

□ 基礎介護の向上

① 介護技術の再確認・向上を目指す

- ・ 介護技術確認表を作成し、定期的に職員の介護技術の状況を確認していく。
- ・ 各部署と連携し、施設内研修を実施する。
一人3日～1週間程度特養ユニットへ職員を派遣し、介護技術の研修を行う。
- ・ 送迎事故（転倒事故等を含む）0件を目指します。
- ・ 外部研修の参加
自ら学びたい研修を見つけ、参加しスキルアップを図る。

② 基本業務の徹底

- ・ 通常業務スケジュールの確認（排泄ケア・口腔ケアの徹底）
- ・ 役割分担の明確化（業務改善、レイアウト、送迎表、物品、各行事等）
- ・ 外出、買い物などの定番化（要支援の方を中心に生活に密着した自立支援）

③ アンケートの実施

- ・ 利用者や家族に対し、サービス満足度調査のアンケートを実施。
苦情だけではなく、要望の聞き取りも積極的に行う。

□ 各部署との連携強化

ショートステイスタッフとの合同カンファレンスの実施

- ・ 在宅サービスを包括的に展開できるよう連携を図る

□ 人間力の向上

① 挨拶、コミュニケーション等、接遇の強化

- ・ ビジネスマナーや一般常識、あいさつの仕方等、一般社会、一般企業において必要と思われる項目に関する研修の実施。

② 考え方・意識の向上

- ・ 「無理・出来ない・ダメ」等のネガティブな意識を撤廃し、「実行するために、達成するためには〇〇が必要」とあくまでも実行、達成を目指す考え方の浸透を図る。
- ・ 半年後、1年後を見据えた物事の考え方、企画力を身につける。

□ 社会資源の活用

① 地域ボランティアの活用

- ・ 現在、地域の民生委員による月1回（第2金曜日）の訪問あり。今後は、社会福祉協議会との連携を図り、新たなボランティアグループの発掘及び「デイサービスセンターまほろばの里たいわ」としてのボランティアグループの構築を行う。

② 地域企業との連携

- ・ 地域にある企業（工場等）への見学や各行事等での連携を図り、お互いの職業理解を深めると共に、地域に根付いたデイサービスづくりを目指します。

まほろばの里たいわ 居宅介護支援事業所 平成28年度事業計画

1 基本方針

要介護者が居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービス、福祉サービスの適切な利用ができるよう、また利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき適切な保健医療サービス、福祉サービスが総合的かつ効果的に提供されるよう、多様な事業者と調整しながら在宅での自立した生活が継続できるよう支援していく。

(1) 信頼を得る

利用者及びその家族とのコミュニケーションを重視し、信頼関係の構築に努める。

医療、福祉サービス事業者との情報共有を密に行い、信頼関係、事業者間の連携の強化に努める。研修等の地域住民が参加できるような交流の場を多く作り、コミュニケーションを図ることで信頼関係の構築に努める。

(2) 課題を正確に捉える

アセスメントを正確に行い、利用者及びその家族の抱える課題や問題と向き合う。

(3) 情報提供

介護保険制度や、保健医療サービス、福祉サービスの情報を適切に提供する。

(4) モニタリング

毎月計画的に利用者宅を訪問し、利用者の身体状況、生活環境を把握する。また、利用したサービスの評価と利用状況を確認する。

2 実践目標

○ 利用者確保

- ・ 関係福祉行政機関、地域包括支援センターとの連携強化に努め、介護支援専門員一人当たり担当件数（実績数）25名の利用者確保を目標とする。

○ 利用者訪問

- ・ 毎月計画的に利用者宅へ訪問し、ケアプランの説明及びモニタリングを行う。

○ 保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との連携 給付管理

- ・ サービス提供表の作成、配布、サービス内容の調整及び利用者の情報共有を行い、必要に応じてケアプランの見直しを行う。
- ・ サービス提供事業者からサービスの実績報告を受け、内容を確認し給付管理票の作成、国民健康保険団体連合会へ翌月10日までに提出する。

○ 介護支援専門員の資質・専門性の向上

- ・ 専門的な知識・技術を高めるために積極的に研修に参加していく
- ・ 地域包括支援センターと連携し、アドバイスを受けながら困難事例の検討、対応を行っていく。
- ・ 居宅介護支援事業所主催の研修会を企画、実施し自らの資質向上だけでなく、地域全体の介護力向上に努めていく。

たいわっこ保育園 平成28年度事業計画

【平成28年度保育目標】

- ・ 心身共に丈夫な子ども
- ・ 人の気持ちを大切にできる子ども
- ・ みんなと仲良く遊べる子ども
- ・ 意欲を持つ子ども

上記を目標に、保育計画を立案、実施していきます。
また、特別養護老人ホームと連携し、行事や日常生活内での交流を持って、世代間交流を図っていきます。

【たいわっこ保育園年間行事計画】

	行 事
4月	はじめの式
5月	サツマイモの苗植え
7月	夏祭り 水遊び
8月	水遊び
9月	敬老会
10月	芋掘り・焼き芋会
11月	保育参観
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	豆まき会
3月	修了式・お別れ会

※ 毎月 (誕生会・身体測定・避難訓練)

※ 年2回 内科検診

■ 各委員会及び係 年間計画

□ ユニットケア委員会

【目標】

平成27年度に取り組んだ事項について、見直しを行い、24時間シートの活用、食事の提供方法・設えの再検討により、入居者の更なる生活向上を目指します。研修会等の実施により、各職員の意識の向上、意識の統一を行いユニットケア推進を目指します。

【活動内容】

上半期

24時間シートの活用 食事・設えの見直し

下半期

上半期実施事項の評価 活動計画の再検討

□ 事故防止対策委員会

【目標】

「ヒヤリ・ハット報告書を活用し、事故件数を減らそう」

ユニット内でヒヤリハットについての話し合いを持ち、事故を未然に防ぐ対策を取り、事故件数を減らしていくことを目標とします。

【活動内容】

年間2階の事故防止対策委員会による施設内研修の実施。
毎月の活動としては、月間の事故・ヒヤリハット報告についての分析・防止策の検討を行う。また、ユニット内でのヒヤリハット・事故について話し合いが行われているかについても、事故防止対策委員会で管理していく。

□ 苦情解決委員会

○ 苦情解決委員会の機能を強化していく

平成27年度に引き続き、苦情が発生した場合早急に委員会を開催、苦情内容について話し合い、今後の対応及び再発防止策について担当者も交えて検討を行い苦情の円滑な解決に繋げていく。

○ 苦情を未然に防ぐ

ユニットや各部署で苦情に発展しそうなケースについて情報共有、今後の対応についての検討を行い、苦情を未然に防ぐよう努めていく。

○ 第3者委員との連携

第3者委員との連携を強化し、第3者委員による苦情解決に関する研修会等を

企画し苦情の予防、解決に関する知識を高めていく。

□ 防災対策委員会

【平成28年度年間計画】

	実施事項
4月	普通救急救命講習
5月	防災訓練（夜間想定 法定訓練）
6月	防災訓練（3F自主訓練）コンセント（漏電）点検
7月	防災訓練（2F自主訓練）
8月	防災訓練（1F自主訓練）
9月	防災訓練（昼間想定・法定訓練）
10月	講習会
11月	通報訓練
12月	コンセント（漏電）点検
1月	災害備蓄品の点検
2月	防災訓練（全体自主訓練）
3月	防災計画・マニュアルの見直し

□ 感染予防対策委員会

【平成28年度目標】

- 1 感染症の発症を最小限にする。万が一発症した場合、その被害を最小限にするために早急の感染対応を実施する。
- 2 職員一人ひとりの感染対策の理解を深める

【平成28年度計画】

- 1 毎月の定例会開催
- 2 研修会を年2回実施
- 3 外部講師による感染対策研修会を年1回実施

□ 研修委員会

平成27年度に引き続き、施設内部研修を企画・実施し職員の知識・技術の向上に努めていきます。

【平成28年度年間計画】

	実施事項
4月	新人研修 接遇（コミュニケーション）研修
5月	感染予防対策研修① ターミナルケア研修
6月	医療面の基礎知識 ユニットケア研修
7月	事故対策研修① 介護保険制度研修
8月	リハビリ（嚥下）研修 褥瘡予防対策研修
9月	MTS 接遇研修（苦情）
10月	感染予防対策研修② 伝達講習
11月	身体拘束・プライバシー研修 リハビリ（移乗・移動）研修
12月	事例発表
1月	排泄研修 伝達講習
2月	事故対策研修② 伝達講習
3月	認知症研修 伝達講習

上記研修の他に、新人職員同士のコミュニケーションや仕事に慣れることを目的としたプリセプターミーティングを定期的実施します。

□ 給食委員会

【委員会目標】

- 1 目・耳・鼻・舌・皮膚の感覚器官を刺激し、感じ、生きる喜びに繋がる食環境・食の提供
- 2 行事食及び畑の野菜などを使用したお茶うけ、ユニット調理により、食を通して季節を感じることができる
- 3 利用者の摂食嚥下機能に合わせた食形態の提供及び食品衛生の意識を高め、安全で美味しい食の提供

【行動目標】

- ① 全ユニットでのユニット炊飯の実施。炊き立ての香、温かさが伝わるようにする
- ② ユニットケア委員会と連携し、食卓や食事時間等雰囲気・環境の見直しを行う
- ③ お茶の時間にお茶うけを用意する場合は、ユニットの飲食費や畑の作物を使用
- ④ ユニット調理を行う際は、季節に合った料理や食材を選び、作る。食べる楽しみを感じられるよう工夫する

- ⑤ 園芸係と情報を共有し、作物の選定、蒔種、育成、収穫に関わる
- ⑥ 感染予防委員会と連携し、食卓、キッチン、冷蔵庫、食材保管庫等の食品衛生管理を行う

【平成28年度活動計画】

月	内 容	月	内 容
4月	お花見膳	10月	芋煮会 嗜好調査 十三夜
5月	端午の節句	11月	七五三
6月	そうめん・冷やし中華等の夏メニューの提供	12月	冬至南瓜 クリスマスマニュー 年越しそば
7月	七夕の節句 土用丑の日	1月	おせち料理 七草粥 小正月（小豆粥）
8月	夏祭り	2月	節分 バレンタインデー
9月	敬老会祝膳・重陽の節句・おはぎ（彼岸）・十五夜	3月	上巳の節句 春分の日（ぼたもち）

上記の他に、季節に合った手作りお菓子をユニット毎に実施していく。

□ 排泄・口腔委員会

【平成28年度活動計画】

- ① 個別排泄ケアの向上を目指す
 - ・ 個々に合ったインナー・アウターの選定、評価、検討を定期的を実施。
 - ・ 個別の状況・身体状況に合わせた排泄方法の評価、検討を実施。3か月ごとに全体の評価を行い、必要に応じ個別評価を行う。
 - ・ 個々の排泄・身体状況に合わせ、布パンツへの移行を進めていく。
 - ・ 個々に合った排便コントロールの検討・実施。
 - ・ 排泄に伴う皮膚トラブルの減少を目指す。
 - ・ 委員がオムツ発注の集計・管理を行い、コストダウンを目指す。
 - ・ 施設内の布パンツ使用者5割を目指す。
 - ・ 他企業や研修委員と共同して研修を実施、スキルアップを目指す。
- ② 口腔アセスメント表の活用
 - ・ アセスメントシートの普及に努め、カンファレンスごとに作成できるよう統一を図っていく。
 - ・ 口腔アセスメント表を作成・活用することで、歯科衛生士との情報共有・連携を図っていく。
- ④ 口腔ケア技術の向上のためのアセスメント表の浸透・周知を行う
 - ・ 統一した口腔ケアを実施していく。
 - ・ 口腔ケアの研修会の実施。

□ IT委員会

- ① まほろば情報の定期発行を実現します
- ② 介護記録方法の統一、職員の習熟度アップを目指します
- ③ ホームページのリニューアルを検討し、広く情報開示に努めます

【年間活動計画】

月	内 容	月	内 容
4月	まほろば情報の発行	10月	まほろば情報発行
5月	ホームページリニューアル	11月	介護記録マニュアル・記録方法の見直し
6月	まほろば情報記事内容検討	12月	まほろば情報記事内容検討
7月	まほろば情報発行	1月	まほろば情報発行
8月	まほろば情報記事内容検討	2月	まほろば情報記事内容検討
9月	介護記録研修会の開催	3月	各種記録の保管状況の確認及び倉庫保管

□ レク・ボラ係

【平成28年度活動計画】

◇ 行事目標

入居者と職員が一体となって楽しめる行事を提供する

- 8月 元気祭り実施 大和町まほろば祭りへ運営ボランティアとして参加
- 9月 敬老会の実施
- 1月 新年会の実施

◇ ボランティア活動目標

地域との繋がり強化、加速を目指す

- ・年間を通して「傾聴ボランティア」の育成・受け入れを行う

□ 喀痰吸引等業務検討委員会

【平成28年度活動計画】

- ・ 経管栄養に関する知識を周知し、経管栄養実施時の観察や準備物、衛生管理等の理解を深める
- ・ 経管栄養・喀痰吸引マニュアルの見直し・改定
- ・ 事故防止委員会と連携を図り、経管栄養・喀痰吸引に関するヒヤリハット、事故の検証・再発防止策の検討を委員会でも行う
- ・ 経管栄養・喀痰吸引が必要な入居者の状況を把握し、計画書の作成を介護支援専門員と協働して行う